

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
作業療法演習 I-2		必修	1	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
榎田 哲弥 他	C308	t.enokida	木曜日 10:30~12:30		
授業の目的・概要	見学実習や専門基礎科目、作業療法演習 I-1 で学んだ知識や技能をもとに、各領域の評価（検査、測定）を適切に実施できることが目的となる。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デバート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	見学実習や専門基礎科目、臨床医学系科目で学んだ知識も必要となるため、授業で配布されたプリント・教科書を復習しておくことが望ましい。				
教科書	標準作業療法学 作業療法臨床実習とケーススタディ 第3版 / 編：濱口 豊太：医学書院 / 2020				
参考書	標準作業療法学 作業療法評価学 第3版 / 編：能登 真一、山口 昇、玉垣 努、他：医学書院 / 2017				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	作業療法士として必要なコミュニケーション能力を身につけることができる。			HSU(2)(4)(5)、OT(1)~(3)	
②	対象者の疾患・症状などに応じて適切に検査・測定を実施できる。			HSU(2)、OT(2)(3)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション OSCE について	講義	事後：説明内容を確認する 後期学習計画の立案	1	
2	コミュニケーションスキルについて学ぶ	講義・演習	事前：資料を読む 事後：資料・演習内容の復習	1	
3	カルテの書き方について学ぶ	講義・演習	事前：資料を読む 事後：資料・教科書の復習	1	
4	<実技実習> ・8グループ程に編成する。 ・各グループはその週の担当指導教員から提示された実技課題に取り組む。 <実技課題> MMT (主要筋)、ROM (主要関節)、FBS、リスク管理 (介助・禁忌肢位)、高次脳機能検査、老年系検査、精神系検査、発達系検査	各教員について演習	事前：実技練習 事後：実技の復習	3	
5					
6					
7	MMT (主要筋)、ROM (主要関節)、FBS、リスク管理 (介助・禁忌肢位)、高次脳機能検査、老年系検査、精神系検査、発達系検査				
8	前半課題のまとめ	各教員について演習	事前：実技練習 事後：実技の復習	3	
9	<実技実習> ・8グループ程に編成する。 ・各グループはその週の担当指導教員から提示された実技課題に取り組む。 <実技課題> MMT (主要筋)、ROM (主要関節)、FBS、リスク管理 (介助・禁忌肢位)、高次脳機能検査、老年系検査、精神系検査、発達系検査	各教員について演習	事前：実技練習 事後：実技の復習	3	
10					
11					
12	MMT (主要筋)、ROM (主要関節)、FBS、リスク管理 (介助・禁忌肢位)、高次脳機能検査、老年系検査、精神系検査、発達系検査				
13	後半課題のまとめ	各教員について演習	事前：実技練習 事後：実技の復習	3	
14	OSCE (客観的臨床能力試験) 1 回目	各教員について演習	事前：実技練習 事後：実技の復習	3	
15	OSCE (客観的臨床能力試験) 2 回目	各教員について演習	事前：実技練習 事後：実技の復習	3	

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療法学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		100	0	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	60	0	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	10	0	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	10	0	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	14.15 回目に OSCE を実施する。一般課題・専門技能課題のチェック項目の総合得点で評価を行う。合格水準に達しない場合は再試験対象とする。				OSCE 試験後に試験担当教員がフィードバックを行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	志茂 聡、小沢 健一、浅野 克俊、岡 猛、小川 麻里子、渡辺 俊太郎						
教員の実務経験	担当教員は 10 年以上の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	配布資料の内容と併せて、臨床を通して得た知見に基づき作業療法に必要な基本的な知識や考え方を教授する。						
そ の 他	<p><b>授業形態</b>：この科目は登校による面接授業で実施する。大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。</p> <p>今後の新型コロナウイルス感染症の状況など、社会情勢等によって再度シラバスの変更もあり得る。</p>						